



スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン

愛称: アジアン・ダイナミズム

基準日 2010年6月30日

*設定日を10,000とします

基準価額の推移(設定来)



※ファンドの過去のパフォーマンスは月末値により算出。信託報酬・実績報酬等控除後になります。決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

※右記の円ドルレートは、基準価額評価日の2営業日前のレートを参照しております。

基準価額 7,653円
純資産総額 3.9億円

騰落率		直近の分配実績(円)	
1ヶ月	-2.40%	第1期	-
3ヶ月	-4.05%	第2期	-
6ヶ月	-2.88%	第3期	-
1年	-7.96%		
3年	-30.03%		
設定来	-23.47%	合計	-

＜ポートフォリオの状況＞	
ユーロ円債の組入比率	86.6%
その他の資産	13.4%

円ドルレート※	
5月27日	:90.03円
6月28日	:89.33円

ファンドの仕組み

【委託会社】

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ユーロ円債に投資するスパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープンの運用を行います。

【ユーロ円債の発行体】

ナティクス

スパークスの運用するファンド・オブ・ヘッジファンズの値動きを参照するユーロ円債を発行します。

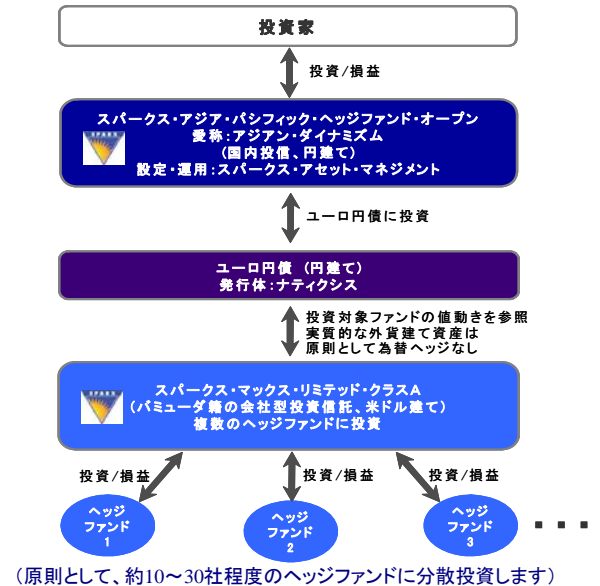
■ナティクスは、フランスそして欧州においてリーダ格のバンキング・プレーヤーです。5つの主要な事業活動(コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング業務、資産運用業務、売掛債権管理業務、プライベートエクイティ業務、富裕層向け資産運用業務)を通じてサービスを提供しています。

■2010年6月末現在の格付けは、Aa3 (Moody's)、A+ (S&P)です。

【投資運用会社】

スパークス・インターナショナル(香港)リミテッド

アジア・太平洋地域に特化したスパークス・マックス・リミテッド・クラスAの運用はスパークス・インターナショナル(香港)リミテッドが行います。またヘッジファンドの選定も行っております。



ファンドの特色

■主としてユーロ円債への投資を通じて、スパークスが運用するファンド・オブ・ヘッジファンズ「スパークス・マックス・リミテッド・クラスA」へ実質的に投資します。

ナティクスが発行するユーロ円債への投資を行います。実質的な外貨建て資産は原則として為替ヘッジを行いません。

■アジア・太平洋地域を投資対象とした複数のヘッジファンドに実質的に投資をすることにより、リスク分散を図りつつ、安定した収益の獲得を目指します。投資対象国は日本、中国(含む香港)、韓国、シンガポール、オーストラリア、インドなど、高い成長力が期待されている国および地域です。

■スパークスは、アジア・太平洋地域を投資対象とした複数のヘッジファンドを選定し、ファンド・オブ・ヘッジファンズの運用を行います。

スパークスは、日本株ロング・ショート戦略およびアジアのオルタナティブ運用で最大級の運用会社であり、2002年8月よりアジア・太平洋地域に特化したファンド・オブ・ファンズの運用を行っています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン

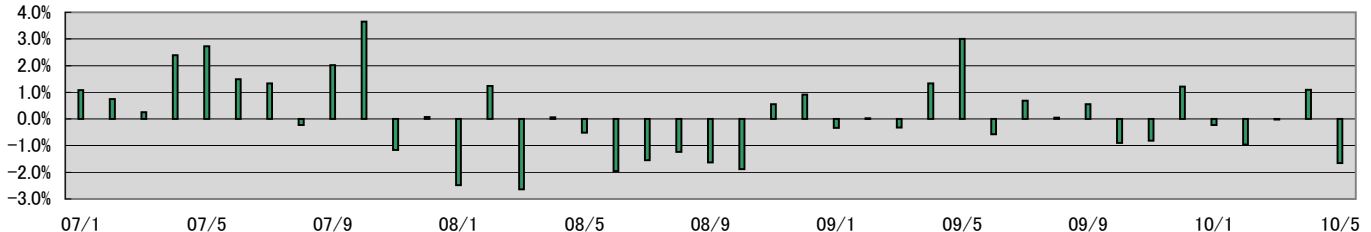
愛称: アジアン・ダイナミズム

<ユーロ円債が値動きを参照する「スパークス・マックス・リミテッド・クラスA」の運用状況> 米ドル建て

純資産総額(百万米ドル)	52.6	基準日 2010年5月31日
組入ファンド数	23	年率リターン(評価開始: 2006年12月末)
ファンド組替え(新規組入/解約)	0/0	月間リターン
		1.47%
		-1.66%

※クラスAの設定日は2002年7月末

月次リターン



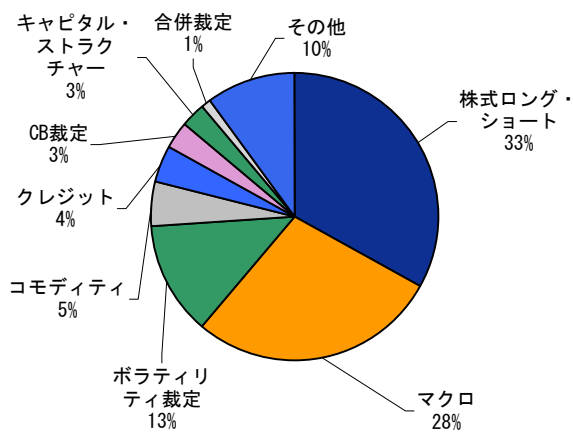
※ファンドの過去のパフォーマンスは月末値により算出。信託報酬・実績報酬等控除後になります。

月次リターン

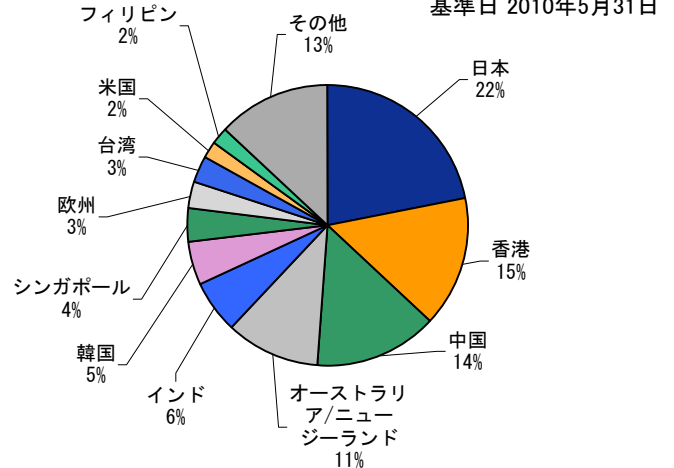
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初末
2010	-0.23%	-0.96%	-0.02%	1.09%	-1.66%								-1.78%
2009	-0.34%	0.03%	-0.32%	1.34%	3.00%	-0.57%	0.69%	0.05%	0.56%	-0.90%	-0.81%	1.21%	3.92%
2008	-2.48%	1.24%	-2.64%	0.06%	-0.51%	-1.96%	-1.54%	-1.24%	-1.63%	-1.89%	0.56%	0.92%	-10.65%
2007	1.08%	0.75%	0.25%	2.39%	2.73%	1.49%	1.33%	-0.22%	2.02%	3.65%	-1.16%	0.07%	15.25%

資産配分状況(クロス)

戦略別配分



国別配分



基準日 2010年5月31日

上記は国別・戦略別のクロス・エクスポージャーを100%表示したものであり、実際の資産配分状況とは異なります。

※クラスAの比率、リターンは米ドルベース

上位ファンド組入れ比率とリターン

	上位組入れファンド	比率	リターン	投資戦略の内容
1	株式ロング・ショート戦略	5.83%	1.61%	中国株式に集中投資するロング・ショート戦略
2	株式ロング・ショート戦略	5.70%	1.91%	日本株式に集中投資するロング・ショート戦略
3	マルチ戦略	5.62%	6.95%	主に香港、オーストラリア、タイ、インドに投資するマルチ戦略
4	マルチ戦略(コモディティ)	5.55%	0.10%	主に大豆、飼料に投資するマルチ戦略
5	マルチ戦略	5.34%	-2.43%	日本を含むアジアに投資を行うマルチ戦略

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン

愛称: アジアン・ダイナミズム

コメント

基準日 2010年5月31日

市場概況

5月は、世界の株式市場が悪材料に悩まされ、近年で最も厳しい環境となりました。世界的に、投資家の間で、欧州圏のソブリン債問題、およびそれがもたらす世界経済への悪影響が引き続き懸念されました。米国では、さらなる金融規制強化法案を巡る議論がありました。アジアでは、中国のインフレ圧力の高まり、および中国政府による不動産過熱抑制策が懸念されました。タイでは、政治的膠着によって暴動がエスカレートし、朝鮮半島では、南北朝鮮情勢の緊張が高まるなど、アジア株式市場は、ボラティリティの高い月となりました。その結果、世界的にリスク資産が大量に売られ、リスク選好度が大幅に後退しました。株価の急落の影響は、5月までは比較的堅調に推移していた債券や、豪ドル、韓国ウォンおよびユーロにまで及びました。株式の中でも、小型株やハイベータ株は厳しい展開となりました。

アジアの全ての指数が下落し、MSCIアジア太平洋指数は前月末比マイナス9.8%となりました。なかでもパフォーマンスが悪かったのは日本と中国で、日経平均株価指数は前月末比マイナス11.7%となり、中国上海/シンセンCSI300指数は同マイナス9.6%、B株指数は同マイナス16.1%となりました。年初来では、ほぼ全てのアジア株式市場がマイナスとなりました。

このような環境の下、スパークス・マックス・リミテッド・クラスA(以下、当ポートフォリオ)は前月末比1.66%下落し、年初来ではマイナス1.78%となりました。

ポートフォリオ

このような厳しい市場環境の中、当ポートフォリオは市場平均を上回り比較的好調な結果となりました。当ポートフォリオに組入れている23ファンドのうち、9ファンドがプラスに寄与しました。

株式ロング・ショート戦略では、3ファンドがプラスに寄与しましたが、それ以外のファンドはマイナス3%からマイナス5%のパフォーマンスとなりました。戦略全体としては損失を出しましたが、市場平均に比べて小さなものとなりました。

さらに、トレーディング戦略およびマルチ戦略から得られた利益により、この損失は軽減されました。これらの戦略は、様々なアセットクラス間においてトレードを行い、市場へのエクスポージャーという点では、回転が極めて速い取引で対応しました。

総じて、当ポートフォリオは、厳しく不安定な市場環境の中、トレーディング戦略やマルチ戦略に下支えされ、ダウンサイドに強いということを示すことができたのではないかと思います。

今後の見通し

投資家のリスク選好度は、5月の各市場における急落と流動性から見て分かるとおり、急激に低下しました。当社では、今後目先においては、市場は引き続き不安定で、マクロ指標やニュースに敏感に反応すると見ております。多くの投資家は既にレバレッジの解消を行っており、現在懸念されている問題がどのように薄らいでいくのか、より具体的に見えてくるまで、引き続き様子見ムードの強い様相となると思われます。それでも、当社では、依然としてアジア株式市場はその他世界の市場を上回ると見ており、バリュエーションから見ても、投資機会としてはより興味を引かれるものがあります。このような厳しい市場環境の中でも、ファンド・マネージャーは、投資の機会を捉え、かつ、より柔軟に対応していくと期待しています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。